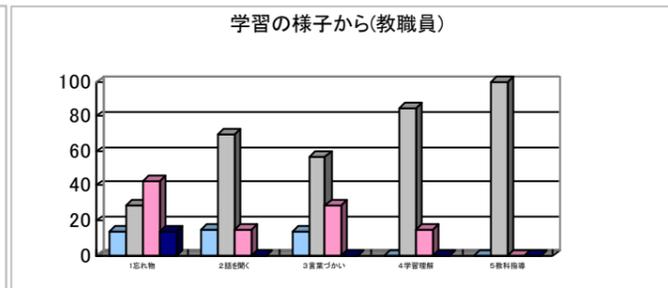
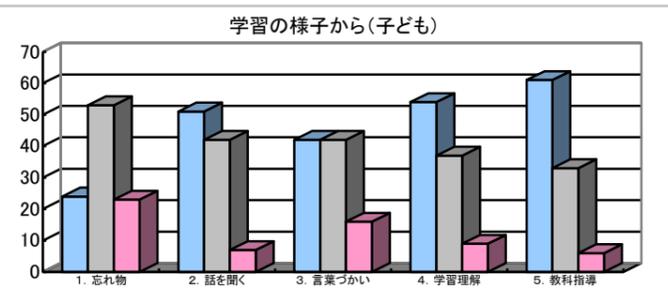
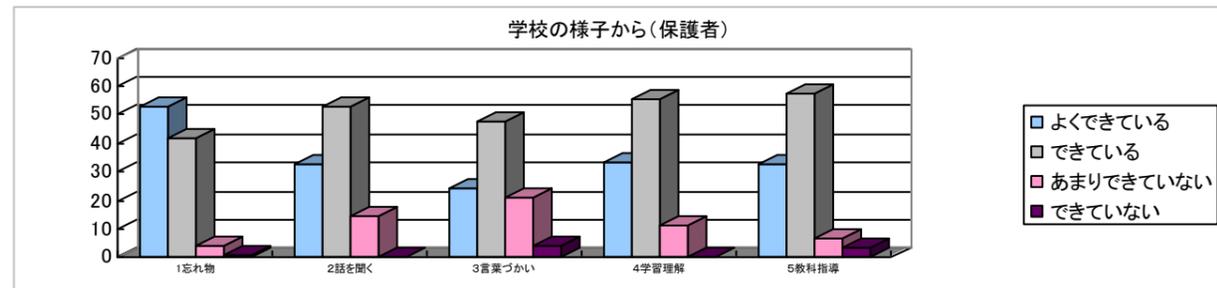


平成26年度 学校評価のまとめ<前期>

保護者の方々による平成26年度前期の学校評価を実施しました。同じ時期に子どもと教職員に実施した「自己評価」、地域の方々からの外部評価と比べながらまとめをしました。

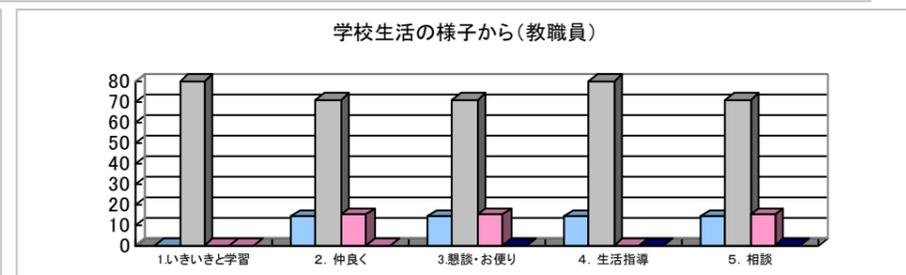
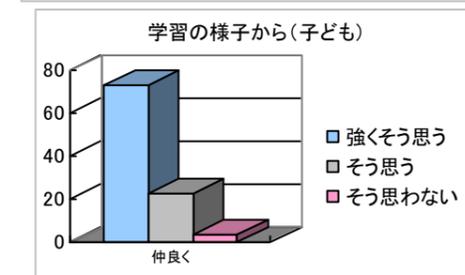
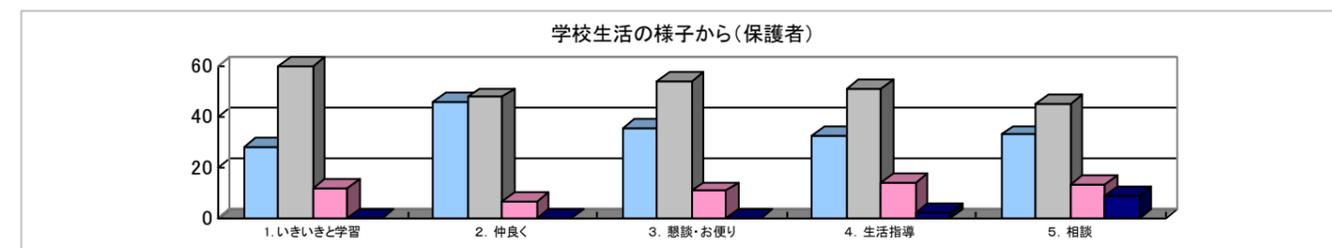
◎ 学習

「忘れ物をしない」という項目が、前回に引き続き、僅かではありますが低くなっています。また、「しっかり話を聞く」「言葉遣いが悪い」といった評価については、前回（平成25年度後期）よりさらに改善されてきました。子ども達の間では、激しい言葉が飛び交っていても、すぐに仲良くなって普通に過ごすのかも知れませんが、中には傷つく子どももいます。言葉は口から簡単に発せられますが、その威力は想像以上に大きいものです。子ども達が単語ばかりの会話をしていないか、考えをきちんと相手に伝えようとしているか、相手を尊重し話が聞いているかを点検し、引き続き学校と家庭の両方でしっかり指導していかなければなりません。「学習用具が揃っているか」という項目では、子ども、教職員ともに昨年度より評価が下がっています。これに対し、保護者の評価では、昨年より「忘れ物が減っている」という結果となっています。学校からの連絡が、子どもを通じて十分に伝わっていないのであれば、子ども自身で学習準備がしっかりできるように粘り強く働きかけなければなりません。学習に必要なものが揃っているというのは学習の基本です。また、「しっかり話を聞く」というのは、学習面や生活面、友達関係の基本となります。そして、集中力や洞察力も培われ、他者意識も向上します。「しっかり話を聞ける子ども」の育成を目指し、日々の授業が充実したものになるようこれからも努力を続けて参ります。



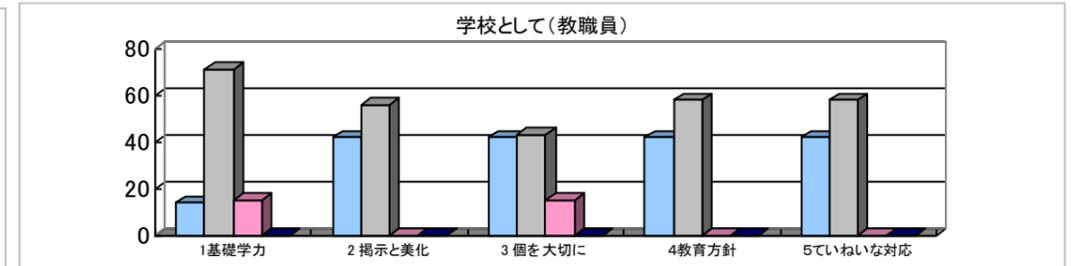
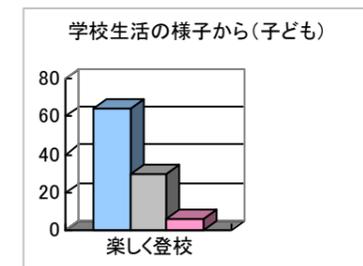
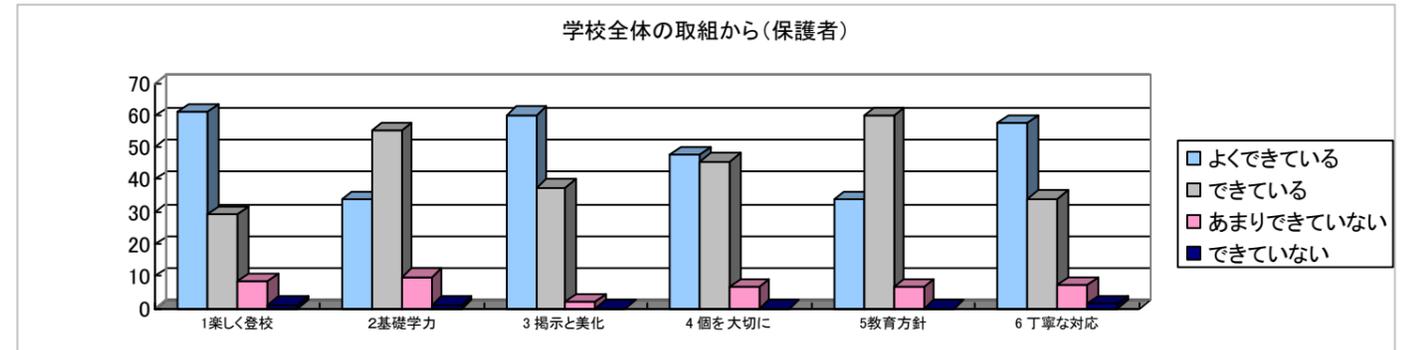
◎ 学校生活

「いきいきと学習している」という保護者の評価が、少し低くなっています。わかりやすい授業や目的意識を明確にした取組を充実させ、学習活動を活性化させていきます。他の項目については、昨年とあまり変わっていません。授業参観や行事にたくさんの保護者が参加していただいています。懇談会も多くの方が出席して下さるようになってきました。今後も懇談会や面談をさらに有意義なものにするとともに、日頃からご家庭との連絡を密にし、各担任は保護者との信頼関係構築に努めていきたいと考えています。



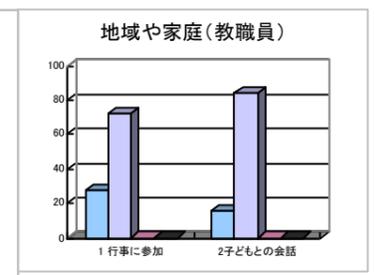
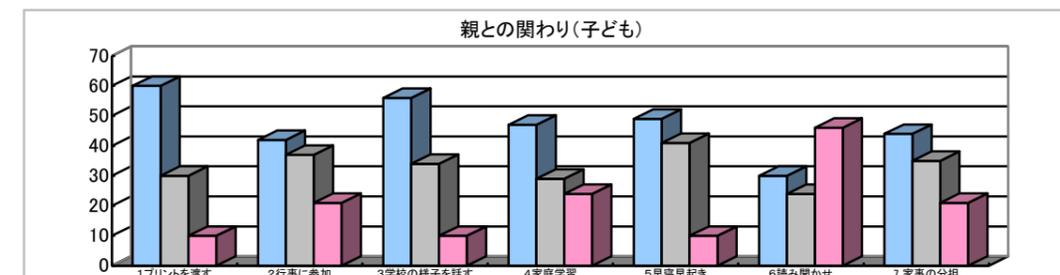
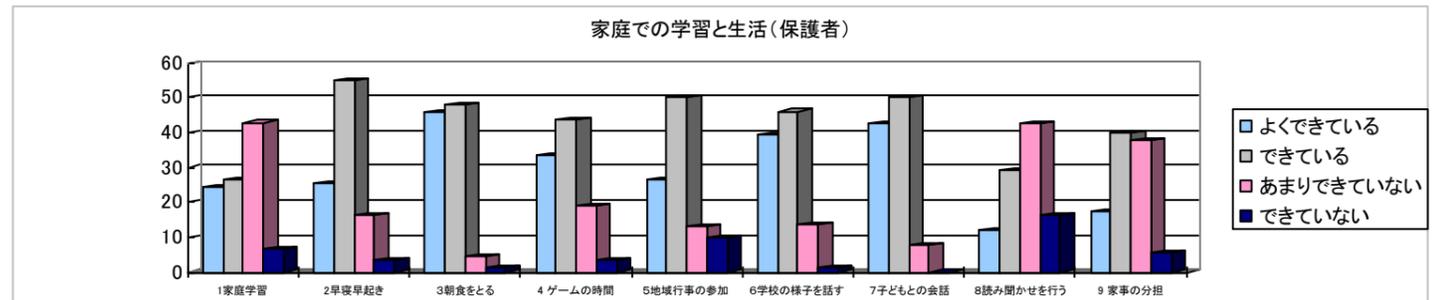
◎ 学校教育

低、中学年で基礎学力が十分に身につけていない実態があるので、授業力アップはもちろんのこと、朝のスキルタイムやチャレンジタイム、放課後などの時間を使って、一人ひとりの基礎基本の力の定着を今年度も引き続き図っていきたいと考えています。「楽しく登校」は「学習がよくわかる」「授業が楽しい」「友達と仲良くあそんでいる」などと関連があります。今年度、「掲示・美化」について、昨年よりできているという評価をいただきました。清掃をきちんとし、環境を整えていくことが学力につながると考え、学習環境をさらに整えていきたいと思います。また、「一人ひとりを大切にしたい教育の実現」につきましても、より一層力を入れて取り組んでいきます。



◎ 家庭・家族

前回に比べ、保護者の「家庭学習」が高くなってきました。学校でも、引き続き「15分×学年」の学習時間の確保を指導し働きかけています。家庭でも、毎日、机の前に座ってしっかり学習する習慣を身につけさせてください。家事は家族の絆を深め、家庭という最小の社会集団の中で自分の役割を考えさせることにも繋がります。子どもたちの「プリントを渡す」の項目が少し下がっています。学習の「忘れ物」の項目同様に、学校としても粘り強く丁寧に取り組んでいきたいと考えていますのでご協力ください。



今後とも学校教育に高い関心をお持ちいただき、家庭や地域と連携して教育活動を進めてまいりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。